

つきたい力

- ・自己調整力
- ・読解力・論理的思考力
- ・学びを見通してふり返る力

取組みの概要・ポイント

- ・単元マップを活用した情報活用能力の育成
- ・単元マップ×情報活用を基盤とした授業づくり

具体的な取組みの内容

単元マップの活用



生徒の情報活用能力の育成をめざし、各教科で「**単元マップ**」の活用を進めている。単元の学習の流れや目標、課題を一目で把握できるように可視化することで、生徒が自分の学びを見通し、必要な情報を整理・選択・活用する力を身に付けられるように工夫している。

また、その単元でのゴールとなる**パフォーマンス課題の共有**をすることで、生きて働く知識・技能の習得に向けて、ゴールを意識しながら見通しをもった学習につなげることを意識している。情報収集や課題の見つけ方を多面的・多角的に考える授業をめざし、取り組んでいる。

知識は
Qubenaで
個別学習



わからないところはグループで
聴き合い

弥生時代を
動画で学ぶ

単元マップによる見通しと
振り返り



全学年での
オンライン
配信のようす



フォーサイトを
活用した自己調整
のようす



単元マップ×情報活用を 基盤とした授業づくり

本校では、「すべての生徒が学びから取り残されない授業」の実現をめざし、「**単元マップ×情報活用**」を基盤とした授業づくりを進めた。端末の活用により、多様な学びの選択を進め、生徒主体の学習環境を整えた。単元マップでの見通しとふり返り、課題の設定、情報の収集・表現など各場面での生徒との目標の共有、誰でも参加できるオンライン配信の整備など、ICTを基盤とすることで「**誰もとりこぼさない授業**」をめざした。

こうした方策を活かし、生徒が**自ら考え、自ら学び、自ら行動する姿**をめざす中で、教員と生徒が授業での目的や手段を共有する意識の定着を進めている。

取組み発表資料



SE通信資料



取組みを通しての子どもの変容

- ・単元マップでゴールを確認して、ワークに取り組み、提出時に単元マップでふり返るという一連の学習サイクルを回せる生徒が増え、自己調整につながっていた。
- ・これまで継続してきた取組みが生徒に定着してきたことに加え、2学期はじめにGIGA端末がより使いやすいものに更新されたこともあり、ICT活用に関する生徒アンケートの数値はおおむね上昇している。ICTを基盤として、学習の管理や授業での取組みなどをおこなうことで幅広い学びに向かう姿が増えた。

アンケート結果

